

2026年8月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山 形 地 方 気 象 台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2026年8月）

【今月の特徴】

○局地的な短時間強雨

○8月4日頃梅雨明け

- ・金山で、日最大1時間降水量が、観測史上1位の値を更新、高峰で8月として1位を更新した。また、高峰で日最大10分間降水量が、観測史上1位の値を更新、東根で8月として1位の値を更新した。
- ・高畠で、日最大瞬間風速が、8月として1位の値を更新した。

【概況】

月

この期間、高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、前半は前線や気圧の谷、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があり、局地的に大雨となる日があった。

月平均気温は、村山は平年並、置賜・最上は平年並から高く、庄内は高い。月降水量は、村山・置賜・庄内で平年並から少なく、庄内はかなり少ない所があった。最上は多い所と少ない所があり、かなり多い所もあった。月間日照時間は、村山・置賜・最上は平年並から少なく、庄内は平年並。

上旬

この期間、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、期間のはじめと終わりに前線や気圧の谷の影響で、局地的に雨が降る日があった。なお、8月4日頃、山形県を含む東北南部では梅雨明けしたとみられる。

旬平均気温は、村山は、平年並から低く、かなり低い所があった。置賜は、平年並で高い所や低い所があった。庄内は平年並から高い。最上は低い。旬降水量は、村山・置賜は平年並で多い所や少ない所があった。庄内は平年並から少ない。最上は平年並から多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は、村山・置賜・最上は平年並みから多い。庄内は多く、かなり多い所があった。

中旬

この期間、はじめと終わりに台風第15号と暖かく湿った空気や前線の影響で曇りや雨となったが、高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。

旬平均気温は、村山は平年並、置賜・最上は平年並から高く、庄内は高い。旬降水量は、村山・置賜・最上は平年並から少なく、かなり少ない所があった。庄内は少なく、かなり少ない所があった。旬間日照時間は、村山・置賜・最上は平年並から少なく、庄内は平年並。

下旬

この期間、前半は高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、後半は前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多かった。30日は、庄内を中心に大雨となった所があった。

旬平均気温は、村山・庄内・最上は高く、置賜は平年並から高い。旬降水量は、村山は平年並から少なく、置賜・最上は平年並から多い。庄内は平年並で多い所や少ない所があった。旬間日照時間は、平年並から少ない。

2 日々の気圧配置（2026年8月）

- 1 日：前線が、中国東北区から東北地方を通して日本の東にのびている。また、低気圧が日本海から東北地方へ進む。
- 2 日：前線が、東北地方から日本の東にのびている。また、気圧の谷が、東北地方を通過する。
- 3 日：高気圧が、千島近海にあって北日本を覆う。一方、東北地方は、湿った空気の影響を受ける。
- 4 日：高気圧が、千島近海にあって北日本を覆う。
- 5 日：高気圧が、本州付近を緩やかに覆う。
- 6 日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。
- 7 日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。一方、低気圧が沿海州からオホーツク海に進む。また、前線が朝鮮半島からオホーツク海へのびている。
- 8 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、前線や気圧の谷が、北日本を通過する。
- 9 日：高気圧が、次第に北日本に張り出す。一方、東北地方は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。
- 10 日：高気圧が、沿海州にあって北日本を緩やかに覆う。一方、台風第15号が日本の東にあって北西へ進む。
- 11 日：台風第15号が、日本の東にあって西へ進み、関東地方に上陸した。
- 12 日：高気圧が、千島の東にあって北日本を覆う。一方、台風第15号が本州付近を横断し、日本海で熱帯低気圧に変わる。
- 13 日：高気圧が、千島近海にあって北日本を覆う。一方、熱帯低気圧が日本海にあって、ゆっくり北へ進む。また、東北地方は、暖かく湿った空気の影響を受ける。
- 14 日：高気圧が、千島近海にあって北日本を覆う。一方、熱帯低気圧が日本海にあって、ゆっくり北へ進む。また、東北地方は、暖かく湿った空気の影響を受ける。
- 15 日：高気圧が、千島近海にあって北日本を緩やかに覆う。
- 16 日：高気圧が、千島近海にあって北日本を緩やかに覆う。
- 17 日：高気圧が、千島の東にあって北日本を緩やかに覆う。
- 18 日：高気圧が、千島の東にあって北日本を緩やかに覆う。
- 19 日：高気圧が、千島の東にあって北日本を緩やかに覆う。
- 20 日：低気圧が、オホーツク海にあって北東へ進む。また、前線が北日本を南下する。
- 21 日：高気圧が、日本海と日本の東にあって、ともに南東へ移動している。一方、前線が、日本海から東北南部を通して、日本のはるか東にのびている。
- 22 日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。一方、上空に寒気を伴った気圧の谷が、北日本を通過する。
- 23 日：高気圧が、千島近海にあって東へ移動する。一方、東北地方は湿った空気の影響を受ける。
- 24 日：高気圧が、千島の東にあって、本州付近を緩やかに覆う。一方、低気圧が、沿海州からオホーツク海に進む。
- 25 日：高気圧が、日本のはるか東にあって本州付近を緩やかに覆う。一方、前線が日本海から東北北部を通して千島の東にのびている。
- 26 日：前線が、華北から日本海を通して日本の東にのびており、東北地方に停滞する。
- 27 日：前線が、華北から日本海を通して日本の東にのびており、東北地方をゆっくり南下する。
- 28 日：低気圧が、北海道から千島近海へ進む。また、前線が朝鮮半島から東日本を通して日本のはるか東にのびている。
- 29 日：前線が、黄海から朝鮮半島を通して日本の東にのびており、ゆっくり北上する。また、東北地方は気圧の谷となっている。

30日：低気圧が、日本海を東へ進む。また、前線が華中から東日本を通して日本の東にのびている。
 31日：高気圧が、沿海州にあって北日本に張り出している。一方、前線が華中から朝鮮半島を通して、日本海にのびている。

3 気候統計値（2026年8月）

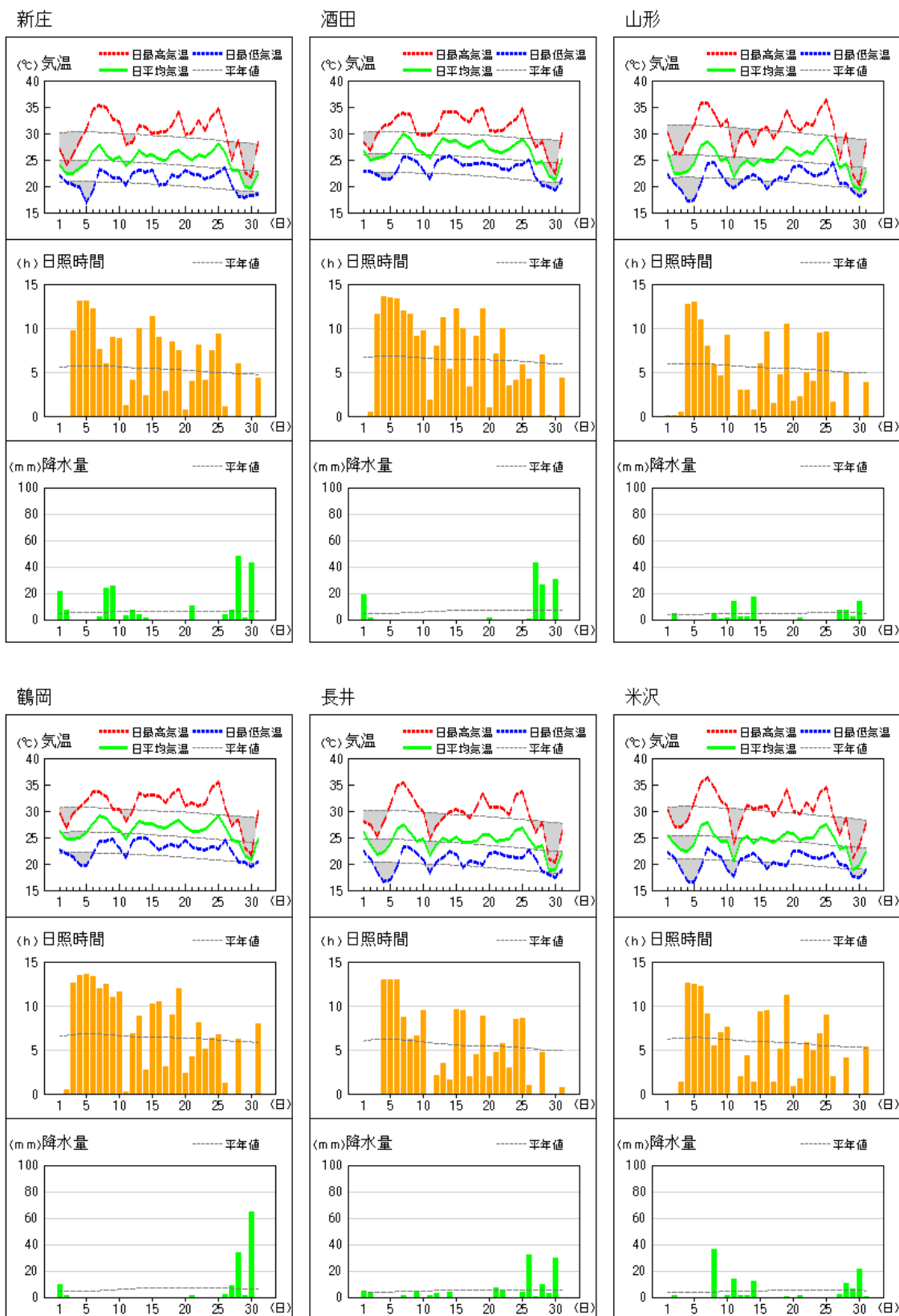
・2026年8月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	25.2	-0.8	低い	11.0	28	平年並	64.9	107	平年並
	中旬	24.9	-0.3	平年並	36.0	77	平年並	40.5	73	少ない
	下旬	24.8	+0.8	高い	31.0	47	少ない	40.6	73	少ない
	月	25.0	0.0	平年並	78.0	51	少ない	146.0	85	少ない
酒田	上旬	26.9	+0.7	平年並	19.5	44	平年並	94.9	137	多い
	中旬	27.8	+2.1	高い	1.0	1	かなり少ない	73.9	115	平年並
	下旬	25.5	+0.8	高い	100.5	111	平年並	45.8	69	少ない
	月	26.7	+1.2	高い	121.0	59	少ない	214.6	108	平年並
新庄	上旬	24.7	-0.3	低い	79.0	146	多い	79.5	135	多い
	中旬	25.6	+1.3	高い	15.5	23	かなり少ない	57.1	106	平年並
	下旬	24.1	+0.9	高い	113.5	152	多い	44.3	85	平年並
	月	24.8	+0.6	高い	208.0	106	多い	180.9	110	平年並
米沢	上旬	24.7	-0.7	低い	38.0	111	平年並	67.6	103	平年並
	中旬	24.4	-0.2	平年並	29.0	57	少ない	44.8	76	少ない
	下旬	23.7	+0.2	平年並	42.0	64	平年並	39.4	68	少ない
	月	24.3	-0.2	平年並	109.0	72	平年並	151.8	83	少ない

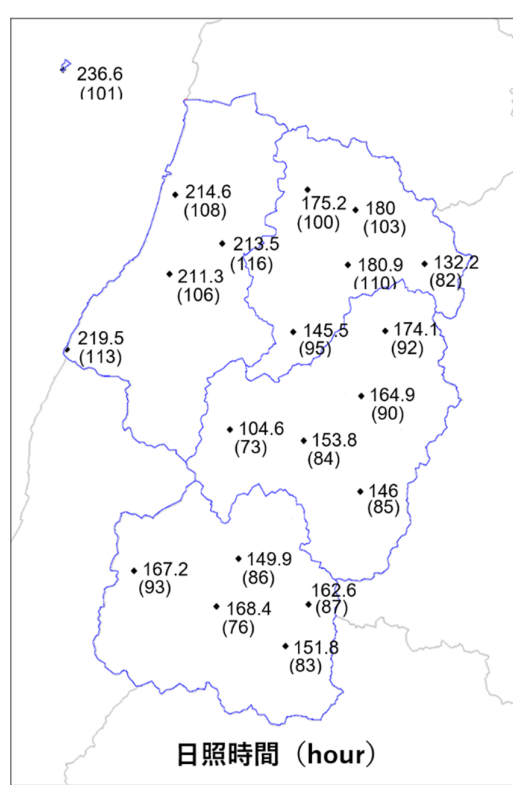
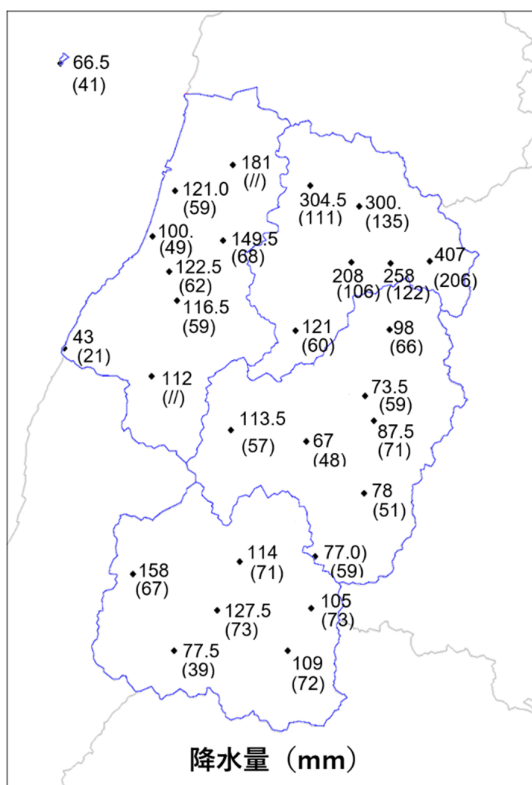
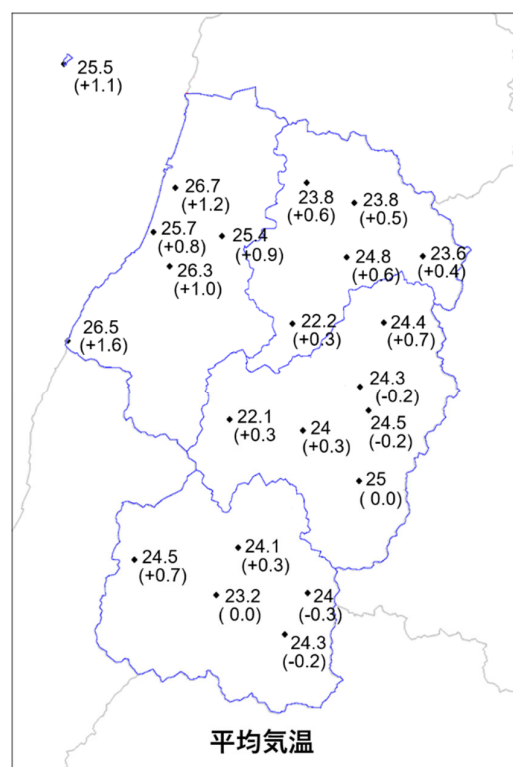
【注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし （平年値は1991～2020年の平均値）

4 気象経過図（2026年8月）

アメダス 気象経過図：2026年08月01日-2026年08月31日



5 気象分布図（2026年8月）



【注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(℃)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2026年8月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 8月として1位～3位更新を記載なし

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 8月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	金山※ ¹	59.0	1	1日	1976年
	高峰	56.0	1	7日	1976年
日最大10分間降水量 (mm)	東根	13.5	1	9日	2009年
	高峰※ ¹	24.5	1	7日	2009年
日最大瞬間風速・風向 (16方位・m/s)	高島	ENE 15.8	1	11日	2009年

同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

※¹: 年間を通じて1位を更新

7 その他

○山形県を含む東北南部の梅雨入り・明け確定値(9月1日発表)

梅雨入り: 6月20日頃(速報値: 6月20日頃)

梅雨明け: 8月4日頃(速報値: 8月4日頃)

○生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測を行っています。

【生物季節観測】(2026年8月)

種目	現象	2026年	平年	平年との差	2025年	昨年との差	観測した場所
すすき	開花	8月10日	8月15日	5日早い	8月25日	15日早い	気象台構内

※平年値は1991～2020年の平均値

生物季節観測の2026年の観測状況は、山形地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/phenology.html>

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000